



平成 30 年 10 月 10 日

各 位

会社名 株式会社竹内製作所
 代表者名 代表取締役社長 竹内 明雄
 (コード：6432 東証第一部)
 問合せ先 執行役員経営管理部長 小林 修
 (TEL 0268-81-1200)

平成 31 年 2 月期 通期連結業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成 30 年 4 月 10 日付「平成 30 年 2 月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」において公表した、平成 31 年 2 月期(平成 30 年 3 月 1 日～平成 31 年 2 月 28 日)の通期の連結業績予想を修正しましたので、お知らせいたします。

また、平成 30 年 10 月 10 日開催の取締役会において、平成 31 年 2 月期の期末の配当予想について修正することを決議しましたので、お知らせいたします。

記

1. 平成 31 年 2 月期 通期連結業績予想(平成 30 年 3 月 1 日～平成 31 年 2 月 28 日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	97,000	12,700	12,400	9,000	188.71
今回修正予想 (B)	106,000	13,800	13,800	10,100	211.76
増減額 (B - A)	9,000	1,100	1,400	1,100	—
増減率 (%)	9.3%	8.7%	11.3%	12.2%	—
(ご参考) 前期実績 (平成 30 年 2 月期)	94,342	14,133	14,033	9,547	200.20

修正理由

当社グループの欧州でのミニショベル、油圧ショベルの販売が上期において好調に推移し、下期も引き続き前回予想を上回る見通しとなったこと、及び前提為替レートを前回予想より円安に設定したこと等により、売上高は 90 億円増加の 1,060 億円となる見通しです。

利益面では、売上高は増加するものの、小型機種の販売構成比率が前回予想より高くなる見通しとなったこと、及び原材料価格の上昇や運送費の増加等を見込むことにより、営業利益は 11 億円増加の 138 億円、経常利益は 14 億円増加の 138 億円、親会社株主に帰属する当期純利益は 11 億円増加の 101 億円となり、それぞれ前回予想より高まる見通しです。

なお、第 3 四半期以降の前提為替レートは、1 米ドル=109 円、1 英ポンド=142 円、1 ユーロ=127 円、1 人民元=15.8 円としております。

(前回予想では 1 米ドル=103 円、1 英ポンド=147 円、1 ユーロ=128 円、1 人民元=16.4 円)

2. 配当予想の修正について

	年間配当金 (円)		
	第2四半期末	期 末	合 計
前回発表予想 (平成30年4月10日発表)		40円	40円
今回修正予想		45円	45円
当期実績	0円		
前期実績 (平成30年2月期)	0円	36円	36円

修正理由

当社は、株主の皆様に対する利益還元を経営の最重要課題の一つとして位置付けております。経営体制の強化並びに今後の事業展開に備えるために必要な内部留保を確保しつつ、安定した配当の継続に努めることを基本方針としております。この基本方針及び平成31年2月期の業績見通しを勘案した結果、期末の配当予想を1株当たり45円に修正いたします。

なお、前期実績より9円の増配となります。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以上